

日本精神衛生学会 2024年度 第1回研修会

「ひらく・かんじる・よみあわせてみるワークショップ

—絵本を通してメンタルヘルス不調をかかえる親と子を支援する—

日時：2024年6月30日（日）13:30～16:00

場所：新宿リサイクル活動センター

東京都新宿区高田馬場4-10-2
JR線 高田馬場駅 徒歩3分（地図参照）

講師：上野里絵（聖徳大学）
北野陽子（NPO法人ぷるすあるは）

対象者：親・子ども・家族への支援をしている方

心理・福祉・保健・医療・教育等の専門職・院生など
※日本公認心理師協会の「テーマ別研修
（「分野共通」2.0単位）として承認されました。

※専門認定制度により認定専門公認心理師／認定専門指導公認心理師として
認められるのは、日本公認心理師協会の正会員であることが条件となります
のでご注意ください。

定員：先着50名

参加費：学会員2,000円、非会員3,000円、学部生・院生1,500円

申込方法：Peatix（下のQRコードをご利用ください）

申込期限：6月23日（日）23:55



【研修概要】

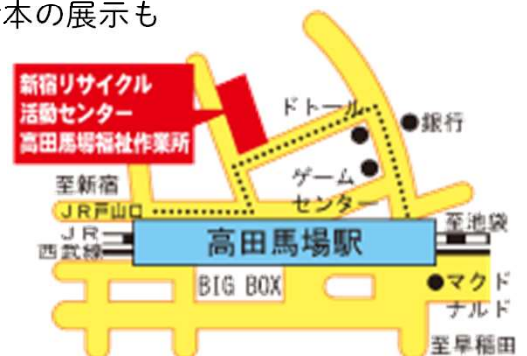
親がこころの不調を抱える時、不安や苦しみを体験している子どもたちがいます。専門家も、親や子どもへの支援について不確かであったり悩んだりしています。フィンランドの児童精神科医であるソランタウス氏は、自身が執筆した親や子どもに向けて書かれた絵本が、大人や専門家をサポートするためのものでもであると述べています。

子どもを応援する絵本を作成している「NPO法人ぷるすあるは」代表の北野陽子氏と、ソランタウス氏の絵本を翻訳した上野里絵氏と共に、絵本に籠められた思いを受け止め、親や子ども・専門家自身のために絵本をどのように活用したら良いか、講義と演習を通して実践的に学びます。絵本の展示もしますので、ぜひ手に取ってご覧ください。

【ご案内】

- ・会場にて、絵本のご案内をいたします。
- ・参加申込は、先着順で承ります。Peatixよりご登録のうえ、参加費をお支払いください。クレジットカード、コンビニ、ATM、PayPal、口座振替をご利用いただけます。
- ※Peatixを初めて利用する方は、アカウント登録が必要です。
- ※コンビニ/ATM支払いの場合の申込期限は6月22日（土）です。

研修申込はこちら
（Peatix）



今後の開催予定

- ・2024年7月13日（土）第2回研修会（※オンライン開催）
「家族ががんになった時～子どものグリーフに寄り添うために～」
講師：大曲睦恵（ルーテル学院大学）
- ・第3回研修会・第4回研修会（企画調整中）
- ・2024年12月14日（土）～15日（日）日本精神衛生学会 第40回大会（創価大学）

日本精神衛生学会
<http://www.seishineisei.gr.jp/>



2024年度第1回研修会 講師紹介

上野里絵（聖徳大学）

東京大学大学院医学系研究科博士課程修了。同大学大学院修士課程在籍時から「精神疾患を有する親とその子ども・家族への支援」をテーマにした実践的研究を行なってきた。同テーマの世界的第一人者であるハーバード大学教授ビアズリー氏およびフィンランド国立健康福祉研究所名誉教授ソランタウス氏に師事。ソランタウス氏がフィンランドの国家的プロジェクトの一環で開発した支援法である「レッツトーク・アバウト・チルドレン」について、同氏らから現地にて直接研修を受けた後、臨床・研究、研修会・講演会開催など、同支援法のトレーナーとして日本への社会実装に向けた取り組みを行っている。主な著書に、トゥッティ・ソランタウス著、上野里絵訳：『お母さん、お父さんどうしたのかな？〈こころの病気を抱える親をもつ子ども〉のハンドブック』『子どもにどうしてあげればいい？〈こころの病気を抱える親〉のハンドブック』（東京大学出版会）がある。

北野陽子（NPO法人ぷるすあるは）

NPO法人ぷるすあるは代表。医師。精神科病院、精神保健福祉センター等を経て、2012年、看護師の細尾ちあきと共にプルスアルハの活動を開始。2015年～NPO法人ぷるすあるは。精神保健に関する情報発信を、絵本やツールの制作、Webサイトを通して行なっている。著書に、『家族のこころの病気を子どもに伝える絵本』『子どもの気持ちを知る絵本』シリーズ（ゆまに書房）、『生きる冒険地図』（学苑社）、『こころとからだコンディションカード』（合同出版）がある。絵本では解説部分を担当、細尾が絵とお話を担当。Webサイト「子ども情報ステーション <https://kidsinfost.net>」を運営。

日本精神衛生学会 入会のご案内

日本精神衛生学会は、科学技術の発展や社会環境の変化に伴い、さまざまな心のひずみや病理現象が多発するようになったことの解明と対策を研究し、実践することをめざして1985年に結成されました。

2024年に結成40年を迎え、精神科医師、公認心理師、臨床心理士、保健師、看護師、教員、福祉職など精神衛生に関わる多くの人々が当学会に所属し、さまざまな研究と実践を行っております。

ぜひこの機会に入会のご検討や、関心をおもちのまわりの方々へのご紹介をお願いいたします。

日本精神衛生学会ホームページ
入会のご案内はこちら →



<http://www.seishineisei.gr.jp/nyukaip.htm>